

助成事業名 舟やまを通じた世代間コミュニケーションの活性化と伝統行事の継承事業

(まちづくり助成 1 年目:かわしま川まつり保存会)

事業概要 かわしま川まつり・おがせ池夏まつりの存続のため中古舟を購入し、祭り経験者の知識・知恵を次世代に繋ぐ過程で、世代間コミュニケーションの機会維持と、伝統行事の継承を図る。

実施内容

●新旧メンバー座談会 5月11日
高齢者が中心の旧メンバーと、若手が中心の新メンバーで集まり、今年度のかわしま川まつりの開催に向けた話し合いや新たに中古アルミ艇を購入する段取りについて相談を行いました。

●中古アルミ艇確認 6月17日
購入予定の中古アルミ艇の確認のため、保有する木曾川観光株式会社の倉庫へ行きました。クレーンを使用し横を流れる用水路に着水させ、運航に問題がないことを確認しました。

●中古アルミ艇購入 6月25日
中古アルミ艇を2艘購入し、木曾川観光株式会社の倉庫からイベント倉庫まで運搬しました。保存会メンバーが立ち会い、トレーラーから舟を下ろす際の誘導等を行いました。

●緩衝材取り付け 7月19日・1月17日
中古アルミ艇を使用できる状態にするため、アルミ艇側面に木材の緩衝材を取り付ける作業を行いました。

●かわしま川まつり準備・本番 7月26日～28日
かわしま川まつりに向けての準備・本番を実施しました。

●舟の片付け 8月3日
舟やまに使用した舟や備品の後片付けを、経験のある高齢メンバーに教わりながら行いました。

●振り返り、体制検討会議 10月31日・11月29日
継続してまつり継承について必要な作業や話し合いを重ねました。



新旧メンバー座談会



中古アルミ艇の状態確認



アルミ艇購入



木材(緩衝材)を取り付けた舟



かわしま川まつり準備・本番・片付け



事業を通じて、高齢世帯の住民と若い住民とが顔見知りになり、かわしま川まつり以外の地域行事でもあいさつや相談ができる状態ができてきた。

-*

事業成果

- ・実際に新旧の舟を組み合わせて祭りが実施できたことから、祭りの継続に希望が見えるようになった。
- ・祭りを通じてさまざまな年代の住民による議論が行われ、それに伴いコミュニケーションが生まれた。これまで関わりのなかった若い住民が、高齢世帯の住民と顔見知りになった。
- ・経験者からのアドバイスにより、今後祭りを継続していくために不足していることなど課題が明確になった。今後、その課題を若い世代で解決していくことで、祭りを継続していくことができるようになるようになった。
- ・令和8年度も2艘の舟を購入し、安全に開催できるよう、十分な必要な体制を整える。3年後、木の舟2艘とアルミ艇を組み合わせることで、6艘2やまでのまつり開催ができるようになることを目標にしながら事業を継続していく。

収支報告 事業費総額 1,189,716 円 / 助成金交付確定額 300,000 円

助成経費内容 アルミ艇2艘、運搬委託料、バッテリー、レシプロソー、替刃、ドリルブリストア、コンパクトソケット、インパクトビット、木材、ボルト、ナット、ワッシャー